

はじめに

20世紀もまもなく終わりを告げ、いよいよ21世紀を迎えようとしています。

この21世紀は、「環境の世紀」ともいわれており、環境・公害問題への対応もより一層の努力と、新たな展開と構築を図っていく必要があると思います。

当研究所においても、21世紀を迎えるにあたり、これまでもまして環境教育・学習事業の分野への新たな展開を図っていきたいと考えております。

現在、当市の小中高校においては、2002年度から導入される「総合的な学習の時間」の授業を各先生方が先取りの創意工夫を凝らして実施しておられます。

この「総合的な学習の時間」のねらいとしては、「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること。」

「学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすること。」の二つが挙げられています。また、「総合的な学習」分野として、国際理解、情報、環境、健康・福祉などが例示されています。

この4本の柱の一つである「環境」の世紀を迎えるにあたり、当所としても積極的な支援体制が求められるところであり、以前から次代を担う子供たちに環境への配慮・思いやりを学んでもらうために環境学習事業に取り組んできたところですが、2002年度からの学校教育における「総合的な学習の時間」の導入に合わせてさらなる取り組みを進めていきたいと考えております。

このような環境の分野における変革の中で、私ども研究所職員一同といたしましても、環境行政の科学的・技術的中核として、これまでもまして、多種多様化する市民ニーズに応え、複雑化する社会に対応するため、一層の科学的知識と技術の研鑽に努め、身近な環境問題から地球規模にわたる環境問題までの幅広い調査研究に取り組み、よりよい環境を育てまいりたいと考えております。

本年報は、1999年度の業務と調査研究をとりまとめたものです。御高覧のうえ、御意見・御批判をいただければ幸いに存じます。

2000年12月

川崎市公害研究所
所長 平山南見子